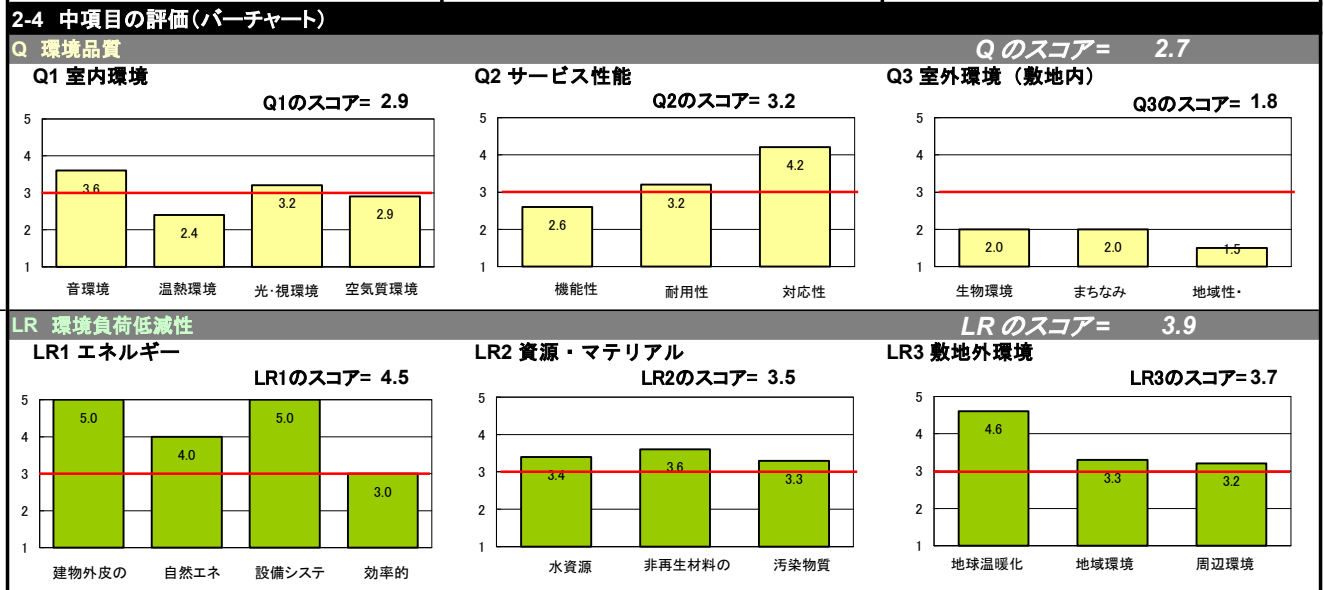
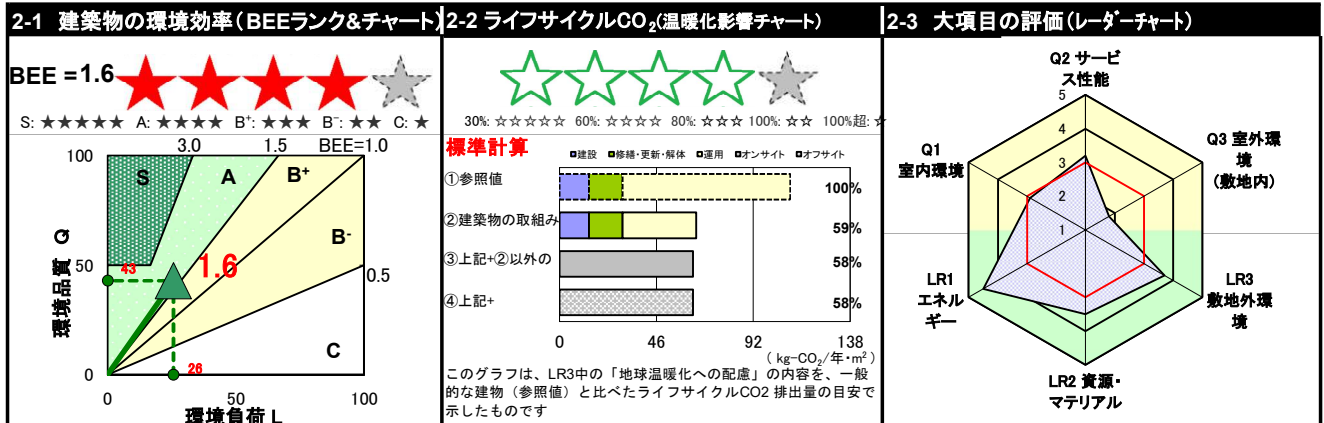


CASBEE®横浜 | 評価結果 | 6-024



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE横浜2022年版v.1.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	パイオラックス国内インフラ整備計画 本社新築工事計画	階数	地上5F
建設地	神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町50番地、51番地、52番地、52番地1、52番地2、4番地271、4番地272、4番地273、4番地274	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	578 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2025年8月 竣工	評価の実施日	2025年8月22日
敷地面積	970 m ²	作成者	清水英見
建築面積	787 m ²	確認日	2025年8月29日
延床面積	3,312 m ²	確認者	丹治春一郎



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
開口部遮音性能:T-2以上。 リモコンスイッチ制御で調整できる。	外壁仕上げ材:押出成形セメント→35年。 階高:3.9m。 床荷重:4900N/m ² 。	特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI=0.78。 BEI=0.42。	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 床:ビニル床シート、タイルカーペット・断熱材:ポリスチレンフォーム。 LGSとOAフロアを使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **パイオラックス国内インフラ整備計画 本社新築工事計画**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量

58

%削減



一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

適合

受付日

2024年6月18日

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPI=0.78。

②手動の開閉窓を使用している。

③BEI=0.42。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

2

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩照度が537lx。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯外壁仕上げ材:押出成形セメント→35年。

⑰給水VLP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)



CASBEE横浜2022年版v.1.2

バイオラックス国内インフラ整備計画 本社新築工事計画

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質			-		-			2.6
Q1 室内環境			0.40		-			2.7
1 音環境		3.6	0.15	-	-			3.6
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			-
1.2 遮音		4.2	0.40	-	-			-
1 開口部遮音性能		5.0	0.60	-	-			-
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-			-
1.3 吸音		4.0	0.20	-	-			-
2 温熱環境		2.4	0.35	-	-			2.4
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			-
1 室温	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-			-
2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	-	-			-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-			-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.20	-	-			-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	1.0	0.30	-	-			-
3 光・視環境		3.2	0.25	-	-			3.2
3.1 屋光利用		1.8	0.30	-	-			-
1 屋光率	快適・働きやすさ ⑩光環境	1.0	0.60	-	-			-
2 方位別開口	快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	-	-			-
3 屋光利用設備	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.40	-	-			-
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-			-
1 屋光制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	1.00	-	-			-
3.3 照度	快適・働きやすさ ⑩光環境	4.0	0.15	-	-			-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	5.0	0.25	-	-			-
4 空気質環境		2.9	0.25	-	-			2.9
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	4.0	1.00	-	-			-
4.2 換気		2.3	0.30	-	-			-
1 換気量	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-			-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	1.0	0.33	-	-			-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-			-
4.3 運用管理		1.0	0.20	-	-			-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	-	-	-	-			-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	1.0	1.00	-	-			-
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.2
1 機能性		2.6	0.40	-	-			2.6
1.1 機能性・使いやすさ		2.6	0.40	-	-			-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	0.33	-	-			-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ ⑫機能性	4.0	0.33	-	-			-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.33	-	-			-
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30	-	-			-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ ⑫機能性	4.0	0.33	-	-			-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.33	-	-			-
3 内装計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	0.33	1.0	-			-
1.3 維持管理		2.5	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ ⑫機能性	2.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30	-	-			3.2
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			-
1 耐震性	防 災 ⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能	防 災 ⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.8	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備	防 災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備	防 災 ⑰信頼性	2.0	0.20	-	-			-
3 電気設備	防 災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法	防 災 ⑰信頼性	4.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備	防 災 ⑰信頼性	2.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性		4.2	0.30	-	-			4.2
3.1 空間のゆとり		4.6	0.30	-	-			-
1 階高のゆとり		5.0	0.60	-	-			-
2 空間の形状・自由さ		4.0	0.40	-	-			-
3.2 荷重のゆとり		5.0	0.30	-	-			-
3.3 設備の更新性		3.4	0.40	-	-			-
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性		5.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性		5.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.2

パイオラックス国内インフラ整備計画 本社新築工事計画

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート			実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目			<非住宅> <集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	-	1.8	
1 生物環境の保全と創出			地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮			地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮					1.5	0.30	-	-	-	1.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	1.0	0.50	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	-	3.9	
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	-	4.5	
1 建物外皮の熱負荷抑制			省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用			省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	4.0	0.10	-	-	-	4.0	
3 設備システムの高効率化			省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-	-	5.0	
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価					3.0	1.00	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
集合住宅の評価					-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	-	3.5	
1 水資源保護					3.4	0.20	-	-	-	3.4	
1.1 節水					4.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.70	-	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					3.6	0.60	-	-	-	3.6	
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.10	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					5.0	0.20	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.10	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					5.0	0.20	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.3	0.20	-	-	-	3.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.5	0.70	-	-	-	-	
1 消火剤					-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)					4.0	0.50	-	-	-	-	
3 冷媒					3.0	0.50	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	-	3.7	
1 地球温暖化への配慮					4.6	0.33	-	-	-	4.6	
2 地域環境への配慮					3.3	0.33	-	-	-	3.3	
2.1 大気汚染防止					5.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					2.2	0.25	-	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減					3.0	0.25	-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-	-	
3 交通負荷抑制					2.0	0.25	-	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制					1.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.2	0.33	-	-	-	3.2	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	-	-	
1 騒音					3.0	1.00	-	-	-	-	
2 振動					-	-	-	-	-	-	
3 悪臭					-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					3.0	0.40	-	-	-	-	
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	-	-	
2 砂塵の抑制					1.0	-	-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制					4.4	0.20	-	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					5.0	0.70	-	-	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	-	-	-	
上記以外の重点項目						-	-	-	-	-	
<事務用途>						-	-	-	-	-	
知的生産性向上への取組			快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	1.0	-	-	-	-	-	
<住宅用途>						-	-	-	-	-	
健康と安心						-	-	-	-	-	
1 化学汚染物質の対策			健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
2 適切な換気計画			健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
3 結露・カビ対策			健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)			健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-	-	-	